

新たな都市型モデルとなる「雨水調整池を活用したオフサイトPPA」により
みなとみらい21地区へ再エネ電力の供給を開始します！

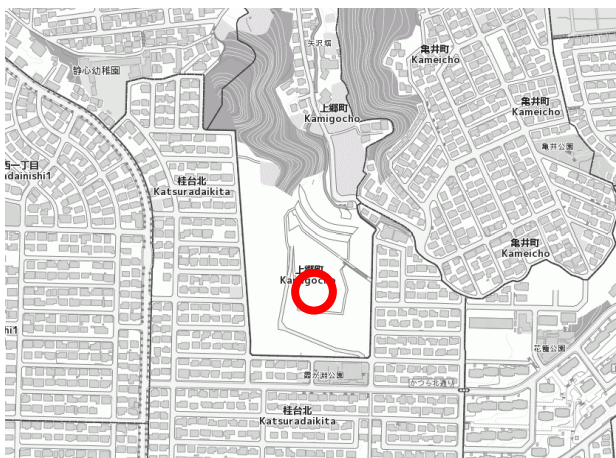


横浜市では、市内における再生可能エネルギーの導入拡大及び地産地消を推進しています。
この取組の一環として、横浜市が所管する雨水調整池に事業者が太陽光発電設備を設置し、発電した電力を脱炭素先行地域^{※1}（みなとみらい21地区）へ供給するオフサイトPPA^{※2}等の取組を進めています。
この度、栄区の湘南桂台第二雨水調整池及び戸塚区の前宿団地雨水調整池における工事が完了し、本市初となる雨水調整池で発電した電力の、みなとみらい21地区への供給がスタートします。
また、検討事業者として選定していた株式会社まち未来製作所と、本年3月に事業実施に関する協定を締結しました。今後、瀬谷区の阿久和雨水調整池で設置作業を進めていきます。

1 事業概要

協定締結事業者	雨水調整池	パネル容量	設置工法	供給先
清水建設株式会社	湘南桂台第二雨水調整池 (栄区)	138kW	水上式	横浜アイマークプレイス
MHCリニューアブル ネットワークス株式会社 ^{※3}	前宿団地雨水調整池 (戸塚区)	108kW	接着式	みなとみらい21熱供給 センタープラント
株式会社まち未来製作所	阿久和雨水調整池 (瀬谷区)	54kW	架台式	市内需要家(予定)

湘南桂台第二雨水調整池(栄区)



裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

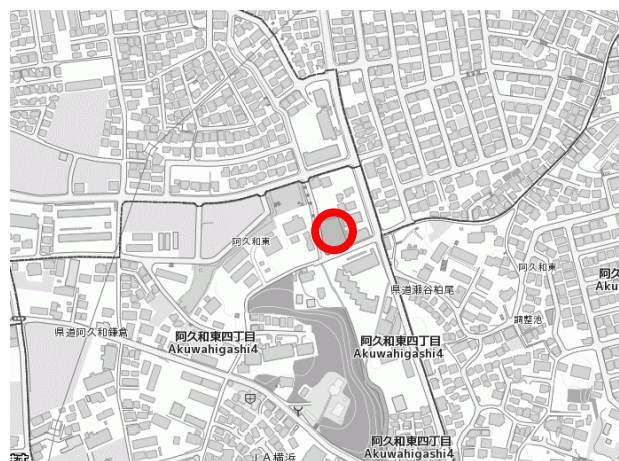
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



原宿団地雨水調整池(戸塚区)

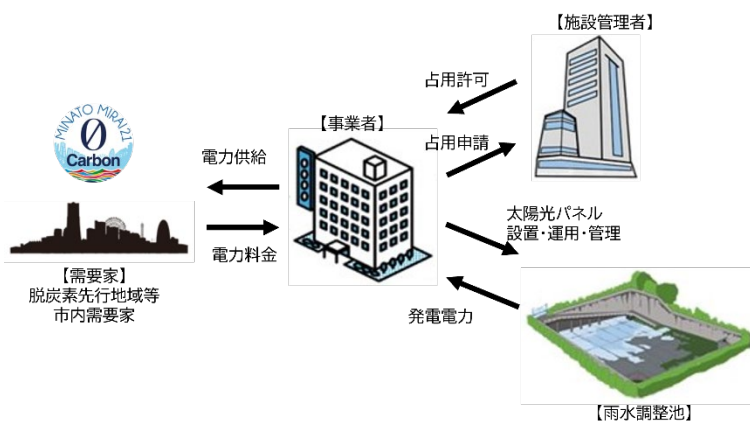


阿久和雨水調整池(瀬谷区)



2 事業スキーム

- ・事業者は雨水調整池に太陽光発電設備を設置し、運用・管理します。
- ・施設管理者は設置場所を事業者に対し占有を許可します。
- ・事業者は需要家に発電電力を供給し、設置費用及び運用・管理費用を、需要家からの電気代等で回収します。



次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

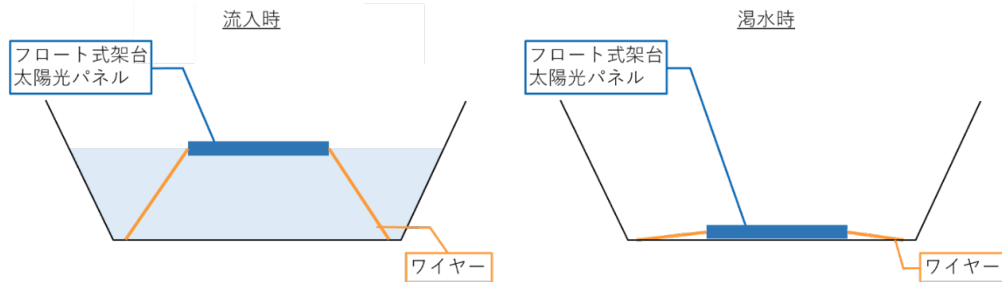
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 本事業における設置工法の概要

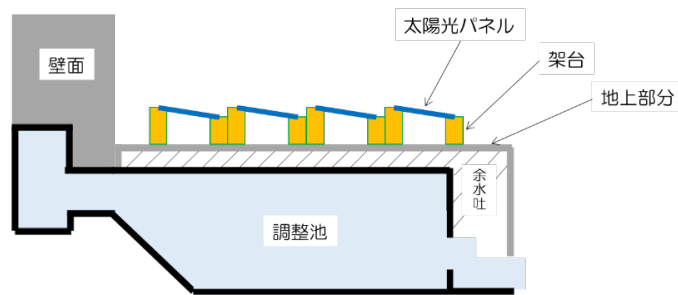
①水上式

水上式とは、浮力を持ったフロート架台上に太陽光パネルを設置し、底盤に緊結したワイヤーとフロート架台を接続することで、調整池内の水位変動の際に太陽光パネルが水面に水平移動を抑制された状態で浮き、水中に沈むことなく継続的に発電できる仕組みとなります。



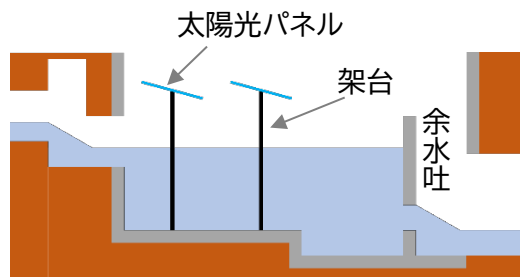
②接着式

接着式とは、施設側の底面にブロック等の架台を接着剤等により接着し、架台上に太陽光パネルを設置するものです。設置先の原宿団地雨水調整池は、地下式の調整池であり地上部分が存在するため、この地上部分に架台を設置しています。



③架台式

架台式とは、調整池の底盤に架台を固定し、架台上に太陽光パネルを設置するものです。太陽光パネルの設置高さを貯留高さ以上に設定することで、水中に沈むことなく継続的に発電できる仕組みとなります。



※1 横浜市の脱炭素先行地域の取組については下記ホームページをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/senkouchiiki.html>

※2 オフサイトPPAとは、再エネ電源の所有者である事業者と需要家が、事前に合意した価格及び期間における再エネ電力の売買契約を締結し、需要地とは別の場所に導入された再エネ電源で発電された再エネ電力を、一般の電力系統を介して当該電力の需要家へ供給する契約方式。

※3 合同会社リネッツから令和6年3月26日に社名変更。

お問合せ先

(雨水調整池に関すること)	下水道河川局河川企画課長	中島 智彦	Tel 045-671-2818
(PPA事業に関すること)	脱炭素・GREEN×EXPO推進局カーボンニュートラル事業推進課長	松下 功	Tel 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

